

平成20年度第4回血液事業部会運営委員会議事要旨

日時：平成21年2月10日(火) 15:00～17:20

場所：財団法人日本教育会館(9F)喜山倶楽部「平安の間」

出席者：高松委員長、大平、岡田、高橋、花井、山口各委員
(事務局)

新村血液対策課長、林血液対策企画官、齋藤課長補佐、秋野課長補佐他
(採血事業者)

日本赤十字社血液事業本部 田所経営会議委員、日野副本部長、中島東
京都センター長、碓井参事

- 議 題： 1. 議事要旨の確認
2. 感染症定期報告について
3. 血液製剤に関する報告事項について
4. 日本赤十字社からの報告事項について
5. その他

(審議概要)

議題1について

議事要旨に関する意見等については、事務局まで連絡することとされた。

議題2について

感染症定期報告について、事務局から説明後、質疑応答がなされた。

議題3について

事務局及び日赤から、供血者からの遡及調査の進捗状況、血液製剤に関する報告事項、献血件数及びHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数について説明後、下記のような意見が出された。

- 地域の献血の HIV 抗体陽性率については、検査施設のキャパを大きくする等、全体の補足率を上げる努力をしていただきたい。
- いろいろな関係医療機関の努力で献血者が増えたことは大変よいことだと思うが、HIV の献血者の割合が高いことが献血推進の足を引っ張っているのは残念である。HIV 抗体陽性者の献血の割合を下げっていくよう様々な対策をお願いしたい。

議題4について

日赤から、車検満了日を経過した移動採血車を運行した事例、献血者健康被害救済制度の運用状況、問診票改定、CLEIA 法の評価について報告後、下記のような意見が出された。

- 不測の事態が起きないように、採血車だけでなく、血液事業に関わる採血の道具、検査の機械も含めて、個人に依存しない形等、しっかりと管理するシステムの整備をお願いしたい。
- VVR は20～30分以内に3分の2が起きているが、時間が経過しても起こっており、その方たちについても対策をするべきである。

議題5について

事務局から、議題その他として血液凝固第Ⅷ因子製剤及び第Ⅸ因子製剤におけるインヒビターに係る対応、注射用ノボセブン1.2mg及び同4.8mgの不採算品再算定、フィブリノゲン製剤及び血液凝固因子製剤に関する公表等について報告後、下記のような意見が出された。

- ノボセブンの不採算品再算定のような事例について、今後も運営委員会で需給の問題として取り上げていただきたい。

また、輸血療法の実施に関する指針の一部改正案及び血液製剤の使用指針の一部改正案について委員より了承された。

以上